

公立大学法人熊本県立大学からの報告の概要  
(5月12日16時00分までに受けたもの)

- 4月12日、公立大学法人熊本県立大学において密封線源(ニッケル63 555MBq)を内蔵したECDガスクロマトグラフ(※)(以下、「ECDガスクロ」という。)が所定の場所になことが判明した。
- その後、学内で調査した結果、令和3年12月に当該ECDガスクロを保管していた部屋の掃除をした際に管理責任者の指示が十分でなく、適正な廃棄手続きをとらずに誤って廃棄していたことが5月8日に判明した。
- 当該ECDガスクロの発見及び回収が見込まれないことから、本日(5月12日)11時30分に放射性同位元素の所在不明と判断した。
- 本事象による被ばく及び汚染は確認されていない。

(※) 気体中の特定のガスの濃度を計る装置

以上